

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(7) J A 飼料用米対応資金の取組み

J A グループ茨城（茨城県）

新規	継続
	○
	(2015年8月)

1 動機(経緯)	<p>本資金は、①2018年度産の飼料用米生産拡大に向けて、経済事業部門と信用事業部門が連携し、生産者が安心して生産拡大に取り組むことが出来るよう支援を行うため、水田活用の直接支払交付金までの資金繰り対策等にかかる十全な対応を図り、地域農業の資金需要にこたえること、②需給均衡による米価の安定を支援するため、短期のつなぎ資金を融通することを目的として2015年8月より当資金の取組みを実施しています。</p>
2 概要	<p>J A 飼料用米対応資金の概要については以下の通です。</p> <p>1 融資対象者 以下の条件(1)～(3)をすべて満たす個人・法人とします。 (1) 組合員(正組合員・准組合員)であること。 (2) 農業を営み、または従事していること。 (3) 信用状況に不安がないこと。</p> <p>2 資金使途 水田活用の直接支払交付金が交付されるまでのつなぎ資金とします。</p> <p>3 融資金額 飼料用米に関する水田活用の直接支払交付金として支払われる交付金相当額を上限とします。</p> <p>4 融資期間 原則として、交付金交付期限である2019年3月末までとします。</p> <p>5 融資金利 農林中央金庫、J A グループ茨城の利子補給・利子助成とあわせて、J A の自助努力により0%とします。</p> <p>6 担保 原則として、担保の設定は不要とします。</p> <p>7 保証 原則として、茨城県農業信用基金協会の保証は付しません。</p>
3 成果(効果)	<p>2018年12月末の実績は以下の通りとなりました。</p> <p>融資実行件数 76件、融資金額 243百万円</p>
4 今後の予定	<p>飼料用米の生産拡大に向け、2019年度も本資金を継続して取扱います。</p>